

行政改革推進委員会評価における反映結果一覧

| 評価対象事業名 | 行政改革推進委員会評価 | | 対応 | |
|--------------------|--|--|------------------------|--|
| | 方向性 | 結 論 | H29当初予算 要求額 (千円) | 今後の方針 |
| 地域おこし推進事業経費 | <input checked="" type="checkbox"/> 拡大基調(コスト拡大、成果拡充) <input type="checkbox"/> 生産性向上(コスト維持、成果拡大) <input type="checkbox"/> 効率性向上(コスト縮小、成果維持) <input type="checkbox"/> 協働化(コスト縮小、成果拡大) <input type="checkbox"/> 現状維持(コスト維持、成果維持) <input type="checkbox"/> 縮小(コスト縮小、成果縮小) <input type="checkbox"/> 休・廃止(コスト皆減、成果休廃止) | ① 隊員の募集に当たっては、地域の要望を明確にすることにより、地域に貢献できる人材を確保し、「地域」「隊員」「行政」が一体となって事業を推進すること。市の中長期ビジョンを明確にし、隊員の活動が一過性のものにならないよう、委嘱期間終了後も継続的な支援が必要である。 ② 地域住民との連携強化や未実施地域への波及効果を期待し、活動地域のみならず市全体に対し広報活動の強化が必要である。 ③ 隊員への十分な活動支援ができるように、財政措置の拡充を望みます。 | 32,406 | ① 受入準備を十分に整え、地域、隊員、行政が連携して地域活性化の推進、住民主体の元気なまちづくりに努めていきます。人材確保の面では、ノウハウを持つNPO法人に委託することで、採用の確保を図ります。また、隊員の委嘱期間終了後の起業や定住についても、支援に努めていきます。 ② 市報等を通じて、隊員の活動を広く紹介していくと共に、導入した地域がどう変化したか検証し他地域に情報提供する取り組み等を検討していきます。 ③ 隊員の活動が十分にできるよう、必要な経費は引き続き予算要求していきます。 |
| 空家等の適正管理に対する助言、指導等 | <input checked="" type="checkbox"/> 拡大基調(コスト拡大、成果拡充) <input type="checkbox"/> 生産性向上(コスト維持、成果拡大) <input type="checkbox"/> 効率性向上(コスト縮小、成果維持) <input type="checkbox"/> 協働化(コスト縮小、成果拡大) <input type="checkbox"/> 現状維持(コスト維持、成果維持) <input type="checkbox"/> 縮小(コスト縮小、成果縮小) <input type="checkbox"/> 休・廃止(コスト皆減、成果休廃止) | ① 窓口の明確化を図るため、空き家バンク事業と相談窓口を一本化して欲しい。 ② 5年前の調査では1500軒を超える空き家が存在したことから、実態を把握し適正管理や利活用につながるよう管理を行うこと。 ③ 空き家バンク事業の趣旨は理解できるが、若者の定住のためにも市民にも売買、賃貸などを促し積極的に活用して欲しい。 ④ 空き家バンク登録物件に表示板を設置するなど、市民（親戚）や観光客へ広くPRが必要である。 ⑤ 危険空き家の宅地に対する減免の解除、除却後の減税や取り壊し費用に対する助成など新たな制度を検討して欲しい。 | 3,849 | ① 今後、自治振興課の空き家バンク事業と市民課の管理不全な空き家相談窓口の一本化について、H29年度実施予定の実態調査の結果を踏まえ、事務量の把握、人員・予算の確保と併せて検討していきます。 ② H29年度には市内全域の空き家実態調査を行い、H30年度に空家等対策計画を策定し、その計画に沿って空き家が管理不全となる前に利活用が出来るよう努めていきます。 ③、④ 既に市民への売買、賃貸を実施している先進地の状況を確認し、民業圧迫にならないよう調整を図りながら、内外から更なる移住定住につながるよう事業を推進していきます。 ⑤ 空家等対策計画策定に向けて新たな制度について検討していきます。 |